

改憲の動きと阻止の闘い

金井克仁弁護士 東京憲法会議幹事長 東京法律事務所



金井弁護士

憲法提示や改憲発議を許さず、桜を見る会やカジノ疑惑等の追及と一体にたかかろうと決めた。

コロナを口実に

中央憲法会議総会で緊急署名の取組強化を決定
新型コロナウイルス感染拡大下、憲法会議（中央）は4月4日の全国総会で、コロナとのたたかいが憲法闘争と位置づけた。

1、総会が位置づけたように、安倍政権はコロナ問題に乗り、緊急事態宣言等によって「緊急事態条項」を口実に改憲を進めようとしている。
2、安倍政権が、コロナ対策を求める世論を改憲論議の追風にした動きは、1月末から顕在化して続いている。直近の動きでは、衆院憲法審査会の新藤与党筆頭

日には、感染拡大防止のため大半の党会合が中止になった中で、自民憲法改正推進本部が改憲論議に取組む姿勢をアピールするため、約50人が出席。そして安倍首相は5月3日改憲派のウェブ会議合会にビデオメッセージを寄せ、緊急事態に対応する憲法議論を進めようとした。

1、自民党は2012年憲法改正草案で緊急事態条項を新設した。首相が武力攻撃や大規模災害等で緊急事態を宣言すれば、国会の関与なしに内閣が法律と同じ効力を持つ政令を制定できるよう提案した。2018年には安倍首相が主導した「改憲4項目」では、大規模災害に限って国民の権利を一時の制限や国会議員の任期延長ができるよう提案された。

2、このように位置づけるかにあつては極めて重大な課題」と発言し、憲法に緊急事態条項を創設する議論を憲法審査会を進めるよう呼びかけた。また、4月10日、9条への自衛隊明記と

改憲派のウェブ会議合会にビデオメッセージを寄せ、緊急事態に対応する憲法議論を進めようとした。

緊急事態条項とは
1、自民党は2012年憲法改正草案で緊急事態条項を新設した。首相が武力攻撃や大規模災害等で緊急事態を宣言すれば、国会の関与なしに内閣が法律と同じ効力を持つ政令を制定できるよう提案した。2018年には安倍首相が主導した「改憲4項目」では、大規模災害に限って国民の権利を一時の制限や国会議員の任期延長ができるよう提案された。

2、このように位置づけるかにあつては極めて重大な課題」と発言し、憲法に緊急事態条項を創設する議論を憲法審査会を進めるよう呼びかけた。また、4月10日、9条への自衛隊明記と

4月19日投票で行われた目黒区長選挙で、目黒区労働、東京地評が推薦した山本ひろ子氏は、26、908票（得票率は35・55%）を獲得し、善戦健闘したものの及びませんでした。当選は青木英二氏（現職5期目）。福生市長選挙
4月26日投票で行われた福生市長選挙で、西多摩労組連、東京地評が推薦した牛久保まこと氏は、3、284票（得票率は23・21%）を獲得し、健闘したものの及びませんでした。当選は加藤育男氏（現職4期目）。



メーデー中央集会を締めくくった団結ガンバロー

第91回メーデー中央・三多摩集会を映像で開催

新型コロナウイルスが猛威を振るう中で開催された第91回中央メーデーは、1920年5月2日に上野公園で開催された100周年を記念してのメーデーでした。新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、代々木公園も封鎖され、急遽全労連会館ホールからライブ配信となりました。ライブ中のチャットによる多くの参加がありリアルタイムで共感が広がりました。

4カ国の海外労組からの連帯するビデオメッセージが紹介され、メーデー100年の歴史を映像配信するなどの、新型コロナウイルスによる自衛隊に負けないメーデーとなりました。ライブ中のチャットによる多くの参加がありリアルタイムで共感が広がりました。

三多摩メーデーも映像配信を行いました。三多摩メーデーも映像配信を行いました。

全印総連東京地連では3月27日の第三次統一行動日に出版印刷川口工場前で朝

出版印刷前で組織化宣伝

全印総連東京地連

拡大防止の観点から、消費用品やマスク着用し、宣伝内容を工夫しながらの行動でした。

朝は「組合に入って働きやすい職場を作ろう」の横断幕を掲げ、チラシ封入テイスシュで宣伝しました。昼と夕方には宣伝カーから「4月から正社員と非正規雇用者との間の不合理な待遇差が禁止されること」「三六協定締結ルールの変更」「新型コロナウイルスに関連での雇止め防止」と共に、労働組合も「新型コロナウイルス検査体制の拡充や仕事を休みやすい環境の整備、中小企業支援の拡充、労働者に配布しました。

行動はのべ45人となり、出版印刷で働く現役労働者から「本日の川口工場前街宣お疲れ様でした。なかなかのインパクトがありました」とメールで反応がありました。



朝昼晩と工場労働者へ組合加入を呼びかけた（3/27）

2020年 6月号 学習の友
特集 ジェンダー平等社会をめざして
ジェンダー平等 私の思い 石川優実・田村綾乃・池内さおり
そもそもジェンダーとは？ 青龍美和子（弁護士）
ジェンダー平等と労働組合 澤田幸子（神奈川労働相談センター）
ハラスメント規制法 板倉由実・父親の性犯罪事件判決 太田伊早子
ジェンダー平等を社会の発展のなかで考える 妹尾知則（労働協）
特集2 安保改定60年から考える／安保はなぜ改定されたか 萩原伸次郎
安保とアジアの60年 川田睦男／日本経済はどう変わったか 江口健志
日米地位協定と沖縄 東森英男／辺野古新基地を止める 瀬長和男

★HP掲載のお知らせ
新型コロナウイルスに関連して、対策や相談窓口などの一覧、事務局長談話、東京都への要請文を東京地評HPに掲載しました。ご覧ください。（http://www.chhyo.jp/）

と引き続き意見交換、情報共有をすすめることを確認しました。
4月19日投票で行われた目黒区長選挙で、目黒区労働、東京地評が推薦した山本ひろ子氏は、26、908票（得票率は35・55%）を獲得し、善戦健闘したものの及びませんでした。当選は青木英二氏（現職5期目）。福生市長選挙
4月26日投票で行われた福生市長選挙で、西多摩労組連、東京地評が推薦した牛久保まこと氏は、3、284票（得票率は23・21%）を獲得し、健闘したものの及びませんでした。当選は加藤育男氏（現職4期目）。